

株式会社マルワ

MARUWA Sustainability Report 2019

サステナビリティレポート 2019

2018.09 ~ 2019.08



MARUWA Sustainability Report 2019

経営理念

人がつどい社会に発信する会社 それが私たちマルワです

52期スローガン

個の強みを生かし 全社挙げて 結果にコミット

ごあいさつ

これからは環境の時代だとISO14001を取得し宣言したのが2002年。2003年から毎年環境報告書を発行し、2009年からCSRレポートとして昨年まで10年間発行して参りました。

2015年に国連サミットで宣言されたSDGs（持続可能な開発目標）に賛同し、一昨年からは自社の考えでSDGsの活動を実践し発信に努めて参りました。これは社員の協力があって初めて実現ができるものと考えています。

今回「サステナビリティレポート」として名称を変え、SDGsを社員が如何に実践しているかを報告させていただきます。地道な活動ではありますが、今後もマルワらしく社員と共に、お客さまそして地域の皆さまの役に立つよう邁進して参ります。

株式会社マルワ 代表取締役社長 鳥原久資



CSRビジョン

私たち、株式会社マルワは、創設以来、名古屋市を地元とし印刷業を通して地域の皆さまに貢献して参りました。ここまでの信用を得られたのは、地域の皆さまのご協力があったからこそだと思っています。今後一層、地域重視・環境保全・社会貢献に励み地域の発展に尽くすことが、当社の使命と強く認識し、企業経営を推進して参ります。

CSR活動 企業活動を行うにあたり、以下の土台を守る。

1 法令遵守やリスク管理を心がける。 (信用、市場、事務等のリスクと収益)	2 内部統制 (役員、社員の法令遵守・財務管理報告・対応等の取り組み)	3 「個人情報保護方針」に基づき適切な安全対策のもと取り扱う。
4 社員にとって居心地の良い職場環境を心がける。	5 街の一員としての地域や社会との関わりを大切にする。 (社会貢献活動)	6 本業を通じて環境保全活動に参加する。 (リサイクル・エコロジー・省エネ等)

CSR方針

1 マルワにとって重要なステークホルダーの期待に応えます。

- | | | |
|--|---|--|
| 1 お客さま
▶期待に応える品質および最適なソリューションを提供します。
▶そのための知識と技術の習得と向上を心がけます。 | 2 地域の皆さま
▶地域の一員として地域課題の解決に積極的に取り組みます。 | 3 社員
▶ワークライフバランスに配慮し、働きやすい職場を作ります。
▶多様性を尊重する職場にします。
▶社員が互いに配慮し合う心理的安全性が高い職場づくりを進めます。 |
| 4 取引先
▶価値を分かち合える関係づくりを進めます。 | 5 すべてのステークホルダー
▶本業を通して環境保全活動を進めます(リサイクル・ゴミ分別・CO ₂ 削減)。
▶法令を遵守します。 | |

2 目的・目標の達成

▶効果的なCSRの為に設定された目的及び目標の達成に力を尽くします。

3 継続的改善

▶CSRマネジメントシステムの継続的改善に努め、CSRの成果を常に向上させることを企図します。

マルワとSDGs

マルワは、決して大きな会社ではなく、ごく普通の印刷会社です。それでもかねてより、社会の一員としての責任(CSR)を重視し、自社の満足だけではなく、地域・社会貢献、環境保全に全社員で取り組んできました。

2015年にSDGsが策定され、持続可能な社会の実現が、世界共通の目標となりました。マルワが継続してきた様々な活動は、微力ながらもSDGsへの貢献であると捉えています。“社員一人ひとりが社会の為にできることを考え、実践し、発信し続けること”それがマルワ・スピリットであり、マルワらしいSDGsの取り組みです。

SDGsとは

世界のリーダーが2015年9月の国連サミットで採択した、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に盛り込まれた17の目標のことです。

すべての国々に普遍的に適用されるこれら新たな目標に基づき、各国は今後15年間、誰も取り残されない世界を実現しながら、あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処するための取り組みを進めることになります。マルワもこの取り組みに賛同し、「マルワとしてできること」を考え、実践しています。



目次

□ごあいさつ・CSRビジョン・CSR活動	2	■情報委員会	10-11
□CSR方針・マルワとSDGs・目次	3	■広報委員会	12
□バリューチェーン・52期の取組・包括的取組	4-5	■社員交流委員会	13
■品質向上委員会	6-7	■包括的取組	14-18
■環境委員会	8-9	■バックカスティング	19

バリュー・チェーン

Value Chain

事業の流れとそれとともなうバリュー(付加価値)および取り組み

1つの製品がお客様ののもとに届くまでには、さまざまな事業活動が発生します。

持続的な経営には会社の強みや独自性を理解し、社会に対してどのような影響があるのか明確にすることが重要と考えます。

マルワの事業活動を工程ごとに分類し、どの部分で、どのような独自の付加価値が生み出されているかまとめました。

工程	受注	調達	制作	印刷・加工	納品	使用
該当						
バリュー	<ul style="list-style-type: none"> MUD (メディア・ユニバーサルデザイン) 女性営業、女性目線も 助成金、認証取得ノウハウ 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な調達 適切な外注・協力会社の選定 	<ul style="list-style-type: none"> MUD (メディア・ユニバーサルデザイン) DTPエキスパート 文字組版の知識 	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮資材の使用 資材の廃棄方法最適化 騒音・排水管理 	<ul style="list-style-type: none"> 無駄のない配送と梱包 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な商品の提供
取組事例	<ul style="list-style-type: none"> エコ運転 ガソリン使用量の計測 	<ul style="list-style-type: none"> 適正価格調整 グリーン購入 植物油インキ FSC®森林認証*紙 	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーレス(メール校正) KIZUKIカードによる校正回数の削減 多能工による効率化 	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮用紙 (FSC®森林認証*紙・パナペーパーなど) 植物油インキ (ノンVOC) (CTP版) 多能工による効率化 機械の定期的メンテナンス 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル可能な包装 配送一括管理 ゴミの分別 	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮紙の提案 リサイクル可能商品の提案 環境配慮の処分支援 お客さまアンケートによるフィードバックとPDCA

(※ライセンス番号：FSC® C100107)

主な顧客
民間・行政・学校関係

サービス
一般印刷物
定期会報類・広報誌・チラシ・広告・伝票・書籍等
印刷物以外のもの
イベント・デザイン・企画提案・ホームページ・販売促進等

52期の取組

マルワでは部署を横断する活動として、ISO運用のため「品質向上委員会」「環境委員会」「情報委員会」をはじめ、「広報委員会」、「社員交流委員会」を設けています。

今期は各委員会では指針となるSDGsの該当項目を定め、それを念頭に委員会活動を行いました。

委員会	品質向上委員会	環境委員会	情報委員会	広報委員会	社員交流委員会
テーマ	発注いただいたお客さまの期待を裏切らない	5Sの浸透	情報資産の管理及び社員の情報資産管理意識の向上	価値ある情報発信	お互いへの思いやりを深める
取組	<ul style="list-style-type: none"> ミス・クレームに対する取り組み ISO品質の勉強会 顧客アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> 緑化・清掃活動 環境の勉強会 GPマーク更新 環境負荷計測 	<ul style="list-style-type: none"> 社員向け勉強会 社員啓発ポスター作成 インフォぱりんの発行 データ管理 集計と分析 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ管理 ブログ監視・管理 SNS更新 プリントーク発行 	<ul style="list-style-type: none"> 誕生日企画 新年会 チャリティーラン 新入社員歓迎会 社内行事掲示 催し物の企画
該当項目					
p.	p.6-7	p.8-9	p.10-11	p.12	p.13

包括的取組

部署、委員会活動の他にも様々な活動があります。SDGsの実現のため、マルワの活動を企業運営に関する社内的な取り組み「経営・事業側面、労働環境側面」、地域など社外的な取り組み「地域とのかかわり」「多様化への対応」としてまとめてみました。

経営・事業側面

p.14

持続可能な経営を目指して

- ▶ 認証取得
- ▶ BCP事業継続計画



労働環境側面

p.15

働きやすい環境整備のために

- ▶ 女性の活躍推進
- ▶ 労働環境の整備
- ▶ 社員教育



地域とのかかわり

p.15-17

安心して暮らせる社会のために

- ▶ ボランティア活動
- ▶ 会社見学
- ▶ 職場体験、インターンシップ
- ▶ 学校・企業とのコラボレーション



多様化への対応

p.17-18

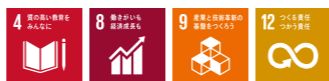
多様化する社会へ

- ▶ 教育・普及啓発活動
- ▶ MUD(メディア・ユニバーサルデザイン)
- ▶ 資材の環境配慮



品質向上委員会

ISO9001 行動指針 | お客さまあつての品質向上



発注いただいたお客さまの期待を裏切らない

52期は結果としてクレーム数が増加してしまいました。

「同じミスを繰り返さない」そのためには、是正内容の定期的なフォローアップと継続した意識づけが必要と痛感して52期のチャレンジはスタートいたしました。

最大課題の解決を目指す！

まず、今期は9月のスタート時点で各部門の最大課題の解決を目指していくこととしました。問題点の抽出を行い、その課題に対して対応策を決めていきました。例えば、企画営業部では、第三者によるチェックを行い、その都度指摘を行う。制作部では「ルールブック」を改訂して、部署ミーティング時に共有する等です。

一時的にミス・クレームは減少するのですが、やはり時間がたつてくると「うっかり」という状況が出てきてしまいます。そこで、社内にボードを作成して「クレーム0日数」の掲示を行いました。目に見える形で、「ノーミス」がどれだけ続いているかを表示いたしました。

しかしながら、結果は昨年とほぼ変わらず。

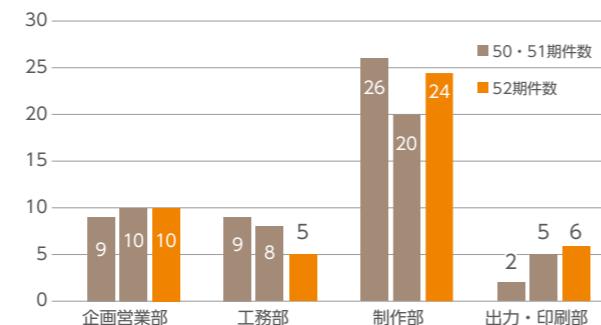
なぜ、ビックリするくらいに数が減らないのか？

これは、根本の解決ができていないからだと感じました。ミス・クレームの対処はその時のその事例の対処という意識が残ってしまって、ほかの事例にそのことを当てはめるということが難しいのではないかと感じました。もっと、ISOの意義・目的を把握して、ミス・クレームが起きない仕組みが自社にはあるということを理解することが必要ではないかと考えています。

各部署の最大課題

企画営業部	生産指示書発行時の指示ミス
工務部	仕分け・梱包ミス
制作部	ルール不徹底による誤植など
出力・印刷部	メンテナンス不備による印刷汚れ

部署別クレーム数の比較



とてもいい仕組みを知ってもらう

ISO理解を深めるため、毎年年間計画でISO品質の勉強会と内部監査・外部審査の報告会を開催しています。

今期の勉強会では、過去に起こってしまったミス・クレームの事例を使って、その是正内容をより掘り下げました。部署をまたぐ様々な意見が交わされ、今までの是正はその場で終わってしまっていたことに気がきました。ISOのルール通りに是正が行われているにも関わらず、一向にクレームが減らなかったのは、是正の仕方が形骸化してしまい、

気持ちが入らなくなったからだと感じました。きちんとしたルールに真摯に取り組む…それができれば「とてもいい仕組み」だということです。その啓蒙活動は大きな課題だと感じた52期でした。

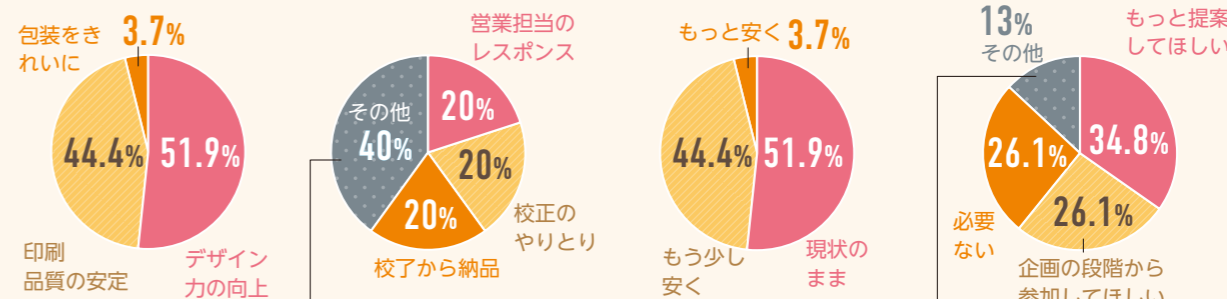


品質の勉強会

アンケート お客さまの声を活かす!!

私たちはよりお客さまに貢献できるよう、毎年お客さまアンケートを行っております。自社の業務に関するアンケート内容は主に4つの質問です。

A) 品質についての要望 B) スピードについての要望 C) 価格について D) 企画・提案について



その他コメント

- 文字のみの校正を別枠とし、校正頻度を上げられると嬉しいです
- 現状で充分だと感じています
- 今まで通りで充分です
- 充分スピーディ
- 満足等

品質に関しては、製品品質よりデザイン力の向上を要望するお客さまが多く、キレイに印刷するのは当たり前、デザインでの差別化を求める声が多いと感じました。スピードはどの部門でも、より早くというニーズが多く、今まで以上に素早く確実な対応が求められていると感じました。価格に関しては現状でOKというお客さまの方が多く、マルワの提供する製品の価値をご理解いた

だけだと感じてうれしく思いました。企画提案力はスタート時点からのお手伝いという要望が多く、「ただ印刷物を作る」から「お客さまと共に考え創る」期待値が増していることが見受けられました。また、再生紙の不足や用紙価格の値上げの新聞報道があってもご存じない方も多く、お客さまと共に最適な商品を作るための私たちの情報提供が少し足りなかったのかなと感じました。

まとめ

ミス・クレームが起こった時の是正は確かに大切です。しかしながら、ミス・クレームの件数は例年と大きな変動はないという現実があります。今までの対策の頭打ち感も正直あります。来期に関しては、ミス・クレームが起こらない仕組み、お客さまに喜んでいただける製品の実現のための仕組み等、今あるルールをISO品質規格と照らし合わせながら「本当にこの仕組みでいいのか？もっと良い方法はないのか？」模索すると同時に、ミス・クレームありきの改善ではなく、ミス・クレームの起こらない仕組みづくりを全社一丸となって取り組んでいきたいと考えています。



品質向上委員会のメンバー
私たちがマルワの品質をより良くしていきます

環境委員会

ISO14001 行動指針 | 地球に優しさ発信



5Sの浸透（整理・整頓・清掃・清潔・躰け）

私たち環境委員会はISO推進のみならず、社内外の環境活動にも取り組んでいます。今期は『整理整頓』『ゴミの分別の再強化』に力を入れて、働きやすい環境づくりをしました。

主な行事



地域環境活動 毎月 8月
 (月1公園清掃、平針商店街清掃)
 月1回の会社前の公園清掃の他、『にっぼんど真ん中祭り』平針会場の清掃活動を平針駅前商店街の皆さまと行いました。

パフォーマンス、環境側面などの監視 通年
 毎月の全社会議で各部署の数値を管理・監視しました。

社内パトロール 通年
 昼休みに使用していない電気のOFF確認や室内温度の確認、机上の整理などを見回り。間違っていたゴミの分別を朝礼で発表し注意を促しました。

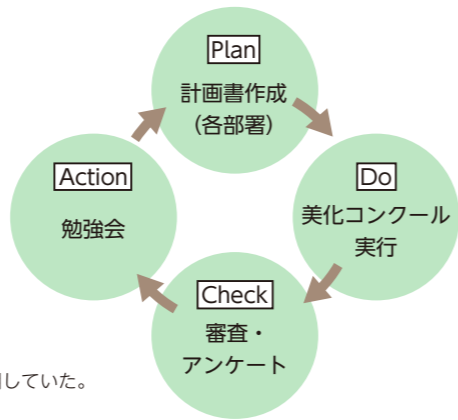
社外環境活動(名商ecoクラブ) 5月
 マルワが加入している団体「名商ecoクラブ」での活動「東山の里山管理」に一部の社員とその家族が参加しました。

朝清掃リーダー会議 毎月
 環境委員の新メンバーで朝掃除のリーダーを請負い、月末には各メンバーが次のチームに申し送りを行い、スムーズに清掃活動が行えるように努めました。

緑化活動 冬 通年
 冬にピオラの花植え、ベゴニアの株分けなどを行いました。

今期の試み

リニューアル
美化コンクールの刷新
 社内環境美化を目的として、年に1・2回ほど行っていた活動の改善を「PDCA」のサイクルを念頭に試みました。
 時期……繁忙期が終わって散らかった時期(4月)
 予習……整理整頓の勉強会を開催(5月)
 期間……1ヶ月間(6月中旬～7月中旬)
 審査……SNSで行い、全社員で審査(ペーパーレス)
 ※以前は審査票を用意し、Before Afterの写真を載せた資料を付けていたのでたくさんの紙を使用していた。
 改善……美化コンクール後にアンケートの実施



GP (グリーンプリンティング) マーク更新



2006年に取得したGPマーク(3年毎更新)は資材から工程までの総合的環境配慮マーク。印刷製品にGPマークを表示することで、資材、製造工程など印刷会社の取り組み全てが環境に配慮されている証明になります。



環境の勉強会

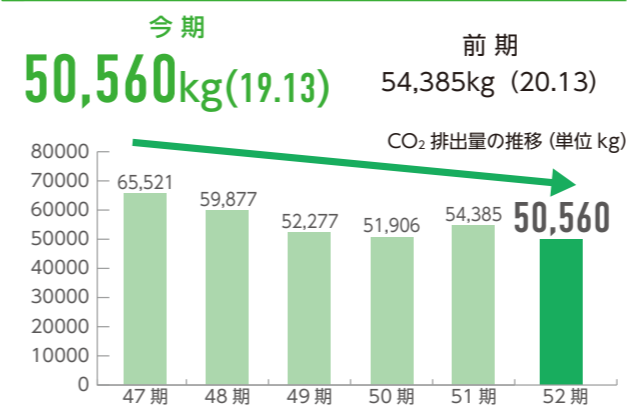
整理整頓の再認識と向上のために『5つのステップ』に分類した形で勉強会を開催しました。



整理整頓の勉強会

52期集計

CO2 排出量(原単位) 監視



エコキャップ運動 集め始めてから10年目



エコキャップ運動 目的

- ▷ リサイクルの促進
- ▷ CO2の削減
- ▷ 売却益で発展途上国の医療支援
- ▷ 障がい者・高齢者雇用促進



※リサイクルされた後、サクラクレパスやうちわの骨、バイクの部品などに生まれ変わります。

部署	営業部	工務部	制作部
内容	ガソリンの原単位管理	電気量の原単位管理	紙ごみ量の原単位管理
目標	3,600円/ℓ以上	0.3以下	0.1以下
結果	5,306 円/ℓ	0.23	0.09
判定	達成	達成	達成
内容	廃ガム液率	廃インキ率	ウエス数
目標	10%以下	13%以下	1,500枚以下
結果	9.02%	15.23%	914 枚
判定	達成	未達成	達成

概ね目標を達成することが出来ましたが、廃インキ率が未達成という結果になりました。

まとめ

マルワではISO14001を取得しています。出てしまったものを「環境に優しい方法で処分する」のではなく、はじめから環境に悪影響を出さない仕組みにする、というのがISOの考え方です。例えば、コピーやプリントアウトをする時に、本当に必要なものか再度考えて実行するか、はじめから環境に優しい資材を無駄なく使うこと、などがあります。環境委員会では、このような環境活動を通して社会的責任を果たしていきたいと思っています。



環境委員会メンバー

情報委員会

ISO27001 行動指針 | お客様に安心と信頼を提供する情報セキュリティの実現



社内勉強会の様子

情報資産の管理及び社員の情報資産管理意識の向上

年間計画をたて、①社員向け勉強会・②社員啓発用ポスターの作成・③インフォぶりの発行・④データバックアップ (BCP 対策含む) の監視・⑤社内インシデントの集計と分析を実施してきました。

すべて、大切なお客さまから預かりしている情報を安全に管理するための活動です。

社内向け啓発活動

マルワのような規模では、情報セキュリティ管理の専任担当者の配置や、高価なツールの導入はできません。従って、社員全員が高い情報管理意識を持ち、お客さまの情報を安全に管理できるように努めていくしかないと考えています。そのために毎年2回社内勉強会を開催したり、社内掲示物や配布物を作成して注意を呼び掛けたりしています。また、お客さまと社員に向けての情報セキュリティ通信「インフォぶりん」を毎月配布し、情報セキュリティに関心を持ってもらえるよう心がけています。

毎月発行
情報セキュリティ通信
「インフォぶりん」



「インフォぶりん」発行月と内容

- 9月 災害対策の観点からデータ管理を考える
- 10月 キー ID (メアド) 管理は厳重に!
- 11月 自分のメールアドレスから届く迷惑メール
- 12月 意外と知らない? パクリとパロディ、オマージュの違い
- 1月 著作権法改正について (2019年版)
- 2月 国による IoT 機器の安全性調査について
- 3月 記憶媒体の寿命について
- 4月 IT 関係のセキュリティを改めて考えてみた
- 5月 平文と暗号文について
- 6月 「2要素認証」と「2段階認証」の違い
- 7月 編集データの著作権について
- 8月 クレジットカード情報が漏えいしたら...

昨年作成した社内ルールをまとめたハンドブックの内容を見直し、再度配布しました。



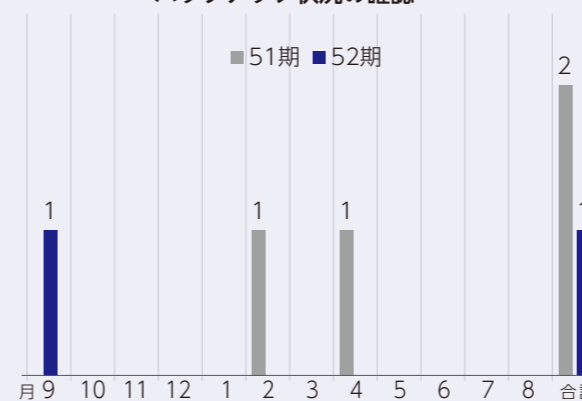
情報管理への注意喚起ポスターを作成し、掲示板に貼っています。



情報管理活動

万が一の事態に備えるため、定期的にデータのバックアップを実施し、確実にバックアップされていることを確認しています。また、社内で発生した不具合を監視し、傾向を分析することによって、情報漏えいや事故の発生を未然に防ぐことのできる社内体制の構築に努めています。

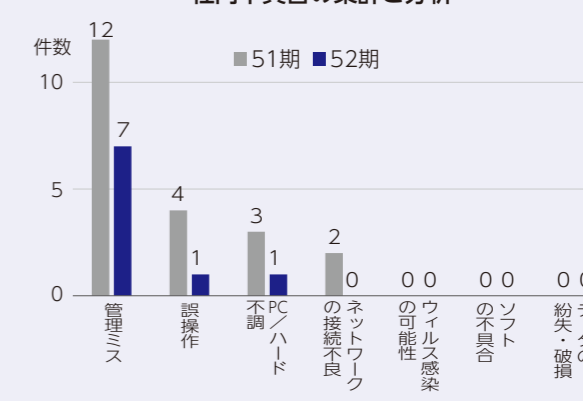
バックアップ状況の確認



業務に使用している共有サーバー内のデータを毎日バックアップし、それとは別に定期的に、物理的に離れた場所でバックアップデータを保管できるようにして、万が一の事態に備えています。ただ、機器任せでは、実際にはバックアップがとられていなかった……などということもありません。

そこで、定期的に (基本的に毎日) バックアップがとれていることを人の目で確認し、記録を残すようにしています。

社内不具合の集計と分析

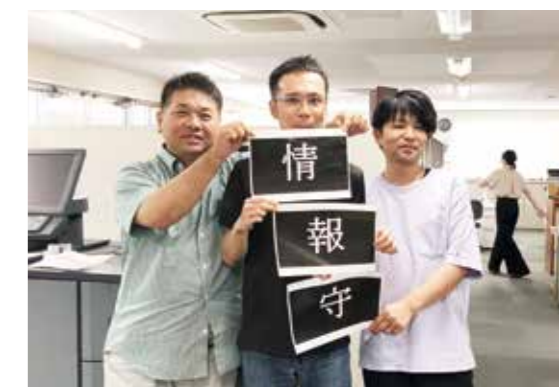


お客さまから原稿となる情報 (データまたは書類) を必要な期間保管し、適切に利用しております。適切な利用のために、作業手順を決め、周知し、周知したルールが守られているかを監視しております。また、幸い、マルワでは情報漏えい事故等の重大なインシデントは発生しておりませんが、一歩間違えると重大なインシデントに繋がりが得る不具合も監視し、傾向を分析して、適宜必要な対策をとるようにしています。

まとめ

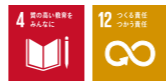
企業を狙ったネットワーク経由の攻撃は日々進化し、高度化しています。また、スマートフォンやSNSの業務利用の普及による情報漏えいリスクも高まっています。それらの脅威からお客さまの、そして自社の大切な情報を守るためにマルワ規模でできることは、全社員が常に情報管理の危機意識を持つことと、脅威についての正しい知識を習得することだと考えています。

今期も情報漏えい事故は0件、社内不具合件数も前期より減少しています。私たちの活動にゴールはありませんが、これからも大切な情報を適切に管理できるように活動していきます。



情報を守る情報委員会メンバー

広報委員会



発信を増やす

前期、ホームページのニュースが最低限の更新だったので、声かけ、意識付けによって、メンバー全員が更新作業を出来るようになり、社内の出来事を発信しました。



ホームページニュース欄

広報誌「ぶりんトーク」

季節ごと発行の広報誌「ぶりんトーク」。今期も前期に引き続きSDGsを意識しました。特集ではSDGsに取り組んでいる企業・組織などへ取材に伺い紹介しています。他に部署や委員会ごとにお客さまの為にそなえた記事や社員コラムを掲載しています。また、新たにマルワのSDGsの取り組みを紹介するコーナーも設けました。



▲スタッフブログ
▶ぶりんトーク



まとめ

今期の目標である「発信の頻度を上げる」はある程度達成しましたが、内容や見せ方、他サービスのWebサイトの周知が不十分であったりと課題を感じました。ブランディングを意識した発信内容、SNSやブログ、ホームページホなど戦略的運営が必要とされるのを感じます。



広報委員会メンバー

スローガン

価値ある情報発信

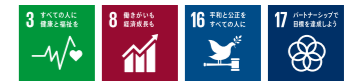
役割分担と発信頻度アップ

今期の目標は「役割を明確にし発信の頻度を増やす」でした。せっかくの活動も発信しなければ意味がない。マルワの活動をお知らせする広報。メンバー編成が期内に変わることもありましたが、今期は役割分担を明確にし、発信の頻度を上げました。

主な業務

- ▶ ホームページ管理
マルワ公式サイト…… <http://www.maruwanet.co.jp>
会社見学支援.com …… <https://www.kaishakengaku-shien.com>
HIME企画出版 …… <https://www.himekikakushuppan.com>
- ▶ ニュース更新（公式サイト内）
- ▶ ブログ管理
スタッフブログ…… <https://maruwastaff.wordpress.com>
- ▶ SNS更新 ……(Twitter) @maruwa_talk
- ▶ 社内掲示板管理
- ▶ 広報誌（ぶりんトーク）発行

社員交流委員会



スローガン

お互いへの思いやりを深める

昨年よりも楽しく、充実

社員交流委員会3年目のメンバーが殆どなので、内容をブラッシュアップし、充実した行事になるよう企画しました。最初の会議で前期の反省をし、それをもとに改善提案を行ったことで、よりスムーズに進行できました。また、昨年に引き続き社員の誕生日をお祝いしたり、社内イベントを社員全員がすぐ確認できる社内行事予定表も作成・管理しました。

新年会

前回行って良かった要素を取り入れつつ、的に向かってフリスビーを投げる、新しいゲームを考案し実施しました。準備は沢山ありましたが、盛況のうちに終わることができました。



新入社員歓迎会

今年入社した仲間を、社員からの寄せ書きと交流を図った企画でおもてなしました。新卒者宛てのご両親の手紙に、一同感動しました。



チャリティラン

名古屋YMCAが毎年11月に名城公園で開催するチャリティーラン。今年も走者6名、応援その他で参加しました。待機時間や応援を楽しめるゲームを考案、場を盛り上げました。



年間行事

誕生日企画

せっかくの誕生日、一日気分良く過ごして欲しい！朝礼等でプレゼントを贈呈し、お祝いしています。



社内行事掲示

会社見学、月一の会議、休暇、出張……社内の様々な共有したい予定を記入・確認できる表を月ごとに制作・管理しています。

まとめ

マルワで働く人が今よりもっと働きやすくなるように、もっとコミュニケーションが円滑になるよう行事を企画していきたいと思えます。SDGsも前期より積極的に取り入れて、地球にも社員にも優しい委員会にしていきたいです。



社員交流委員会メンバー

包括的取組

持続可能な社会に向けて

経営・事業側面

持続可能な経営を目指して

健全な経営

マルワでは健全な経営およびリスク低減のためにISOをはじめ、様々な認証を取得し、社員教育を行っています。

認証取得履歴

2001年	5月	ISO 9001 (品質マネジメントシステム) 認証取得
2002年	6月	ISO 14001 (環境マネジメントシステム) 認証取得
2002年	11月	名古屋市エコ事業所認定
2004年	11月	ISO 27001 (情報セキュリティマネジメントシステム) 認証取得
2006年	12月	グリーンプリンティング工場認定
2010年	8月	FSC® 森林認証取得 (ライセンス番号: FSC® C100107)
2011年	2月	カーボンオフセット実施
2013年	4月	名古屋市親学推進協力企業
2013年	6月	全日本印刷工業組合連合 CSR 認定 ワンスター
2014年	7月	名古屋市認定優良エコ事業所認定
2015年	3月	おもてなし経営企業選
2015年	9月	全日本印刷工業組合連合 CSR 認定 ツースター
2017年	1月	あいち女性輝きカンパニー認定
2017年	12月	おもてなし経営企業「金」認証取得
2018年	2月	2017年度経営者「環境力」大賞受賞
2018年	4月	えるぼし企業認定
2019年	7月	あいち女性の活躍プロモーションリーダーを受嘱



BCP 事業継続計画 (Business Continuity Plan)

マルワでは災害など非常時にも迅速に事業が復旧できる仕組みを設けています。連絡網の整備や外部企業との連携によるバックアップデータのやりとりをはじめ、災害時対応マニュアルを改訂し、優先順位や復旧手順、責任者を明確にしました。さらに、緊急連絡網の実施テストを不定期に行い、災害時の心構えを養っています。

また、全日本印刷工業組合連合と連携し、MUDに配慮された避難所セットの普及にも努めています。

天白消防署と連携した天白災害拠点にもなっており、災害時には地域復興に尽力します。



労働環境側面

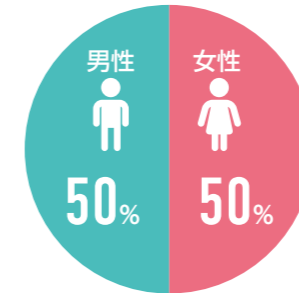
働きやすい環境整備のために

女性の活躍推進

女性の活躍できる会社を目指し産休、育休の取得推奨や復帰しやすい職場の整備を進めています。「えるぼし」や「あいち女性輝きカンパニー」の認証を取得しています。また、社員の子どもの誕生日にはお祝いが贈られます。



従業員性別の割合
パート・嘱託含む全 32 名



主な支援

- 産休休暇奨励
- 育児休暇奨励
- 子どもへのお祝い

労働環境の整備



働き方改革を受け、労働環境整備が見直されています。年間休日の他にリフレッシュ休暇と誕生日休暇を設け、気兼ねなく休みをとれる環境づくりをしています。有給消化率も5割近くなりました。

また、社員の健康にも配慮し、健康診断の受診を推奨しています。今年は外部での受診となりましたが、半日休暇や有給を活用し受診率は100%となりました。

社員教育

ISO勉強会をはじめ、外部のセミナーなど、多くの勉強の機会を設けています。

地域とのかかわり

安心して暮らせる社会のために

ボランティア活動

自社の利益だけを追求することなく、社会の一員としての責任、役割を意識して活動しています。平針商店街組合をはじめ、様々な組合に所属し、毎月の公園清掃や、につぼんど真ん中祭り平針会場の清掃、名古屋ウィメンズマラソンのボランティアに参加しています。



毎月の公園清掃

- 11月 里山保全のための間伐に参加
第24回チャリティーランに参加
- 3月 名古屋ウィメンズマラソンのボランティアに参加
- 8月 どまつり
平針駅前会場掃除

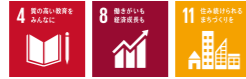


東山公園：森林保全間伐体験



名古屋ウィメンズマラソンのボランティア

会社見学



受け入れ数 **33** 団体
受け入れ人数 **122** 名

マルワは会社見学を積極的に受け入れています。どういった会社なのか、何をしている会社なのか、どんな人が働いているのか、ぜひ見に来てください。

企画から制作・印刷・発送まで一貫生産の現場を見ていただくことにより、印刷の仕組みや、企画資料、制作環境だけでなく、その雰囲気を感じていただけます。

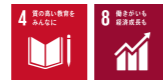
実際に見ることにより、これからの制作案件に対するモチベーションも上がり、相互理解を深め、新しいアイデアや思わぬ気づきが得られます。社員も「見られる」という意識を持つことにより、よい緊張感をもって業務を行う事ができます。



参加した方々の感想

- ▶ 各部署の説明がとても分かりやすかった
- ▶ 掲示物が参考になった
- ▶ 印刷以外にも多くの商品ができることが分かった
- ▶ MUDへの興味が深まった

職場体験・インターンシップ



名古屋芸術大学の生徒さんに制作していただきました。



若者の進路選択や就業を取り巻く環境が大きく変化しています。マルワでは積極的に職場体験やインターンシップを通して学生に「働く」ということを経験してもらっています。出来上がるまでの工程を知り、それまでに何が必要か、また「働く」とは何かを学び、将来を見据えるためマルワでの体験を活かしてもらえたらと思います。

受け入れ学校数 **6** 校
受け入れ人数 **11** 名

学生さんの感想

- ▶ 手に届くまで様々な工程があることを知りました。
- ▶ 製品になると思うと緊張します。



応援団認定証

愛知県から中学生の職場体験の受け入れを評価され「応援団認定証」を頂きました。



学校・企業とのコラボレーション



自社だけで完結するのではなく、様々な企業や人を巻き込んだ取り組みをしています。お互いの得意分野を最大限発揮し、より良いものを作り上げることができます。アイデアだけでなく技術のシェアも可能になり、お互いに気づきを得られます。マルワでは学生、作家（文章）、イラストレーターとコラボレーションし、カレンダーを制作しています。



バナナペーパーカレンダー

国連の定めるSDGs（持続可能な開発目標）の17の目標すべてを達成するバナナペーパー*を使ったカレンダー。

愛知県立芸術大学の学生さんによるイラストと、作家 山下景子さんによる美しい文章が12ヶ月を彩ります。



いろいろなハートカレンダー

イラストレーター茶畑和也さんのすてきなハートのイラストが、毎日やさしい気持ちにさせてくれるカレンダー。（このカレンダーの売上の一部は、東日本大震災の支援活動費となります。）



*バナナペーパーは、バナナの茎を原料としたフェアトレードペーパーです。環境配慮や途上国の貧困解決策としての側面を持ち、SDGsの17目標すべてにつながっています。マルワは、このバナナペーパーを印刷用紙として活用し、普及に努めています。 PHOTO: One Planet Café



多様化への対応

多様化する社会へ

教育・普及啓発活動

イベントの出展だけでなく企業や学校などでSDGsや社員教育、BCP（事業継続計画）、MUD（メディア・ユニバーサルデザイン）などの講演を行いました。SDGsに関する講演依頼が増え、「環境・SDGsといえばマルワ」という認知が徐々にされつつあるのを感じました。

また、異業種交流イベント「メッセナゴヤ2018」ではSDGs啓発と企業活動を結び付ける紹介や、プラスチックを使用しないティッシュケースなどを提案し、様々な企業だけでなく、自治体にも興味を持っていただき、発注につながりました。ほかにも「エコプロダクツ2019」などエコ関連の出展やお手伝いをしました。

講演数

21 講演

参加イベント

6

SDGsという言葉は徐々に認知されつつあるようですが、具体的に何をどうするべきか不透明に感じている方も多く、どう企業活動に活かすか、どれが当てはまるのか、少しでも参考にさせていただいたら幸いです。



大学での講演



企業での講演



SDGs イベント



異業種交流会「メッセナゴヤ2018」

MUD (メディア・ユニバーサルデザイン)

「多様性」という言葉がよく使われていますが、視覚にも多様性があります。色弱・色覚障がいをはじめ、年齢などの様々な要因で人それぞれ見え方は異なり、同じものを見て同じように認識できるとは限りません。マルワではすべての人に必要な情報を過不足なく伝える、メディア・ユニバーサルデザイン（色や形、大きさなど伝え方に配慮し、人種世代分け隔てなく理解できるメディア）の作成に取り組んでいます。

MUD
アドバイザー
21名

MUD
ディレクター
2名



MUD すごろく
遊びながら学べます！
(MUDコンペティション
受賞作品)

同じメディアでも見え方は人により異なります

文字 年齢によっても見え方は変わってきます。

高齢者の見え方
シミュレーション

日本全体で約**4,000**万人

色 色の見え方も人によって異なります。

色弱者の
見え方
シミュレーション

日本全体で約**320**万人

資材の環境配慮

限りある資源の中で、どう我々は生きていくのか……。プラスチックが改めて問題となり、環境配慮が企業にも当たり前のよう求められる時代です。マルワではグリーン購入法に準じた資材調達をはじめ、バナナペーパー、カーボンオフセットやグリーンプリンティング認定、FSC®森林認証*紙、植物由来インキの使用など環境に配慮しています。
(※ライセンス番号：FSC® C100107)

GP マーク認証件数

72件

FSC® 認証件数

11件



GP マークの付いた資材



カーボンオフセット証明書 (CO₂ゼロプリント)



植物由来のインキ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

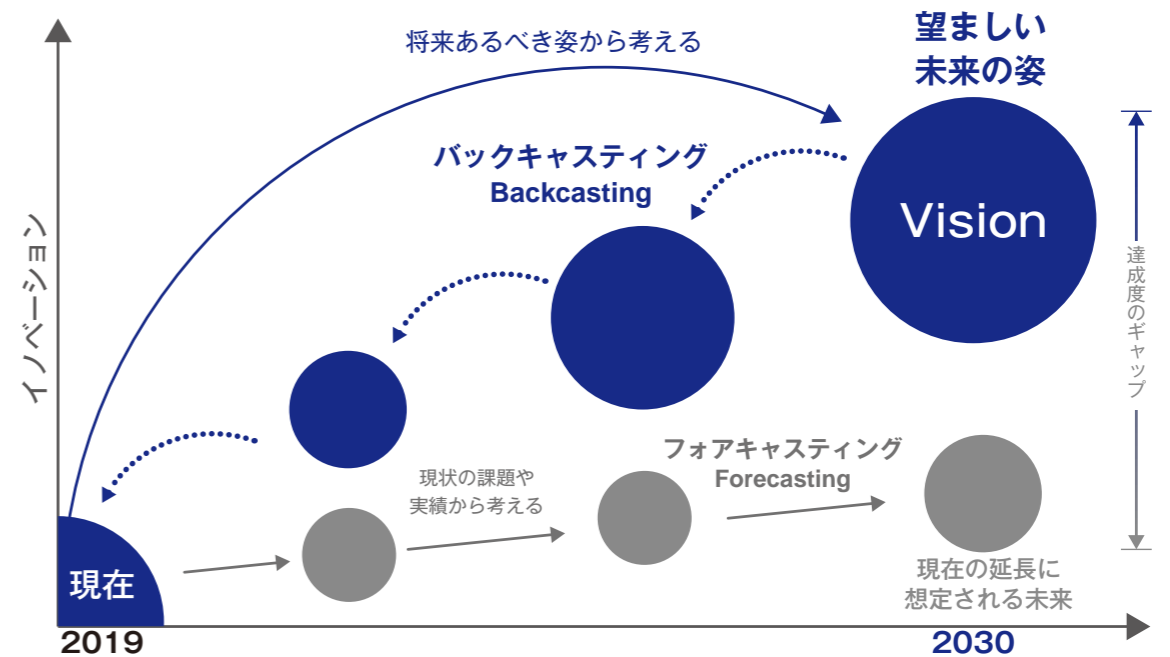
世界を変えるための17の目標

アウトサイドインアプローチ

OutSide In Approach

バックカスティング

Backcasting 2030



「バックカスティング」とは、未来を予測する際、目標となるような状態を想定し、そこを起点に現在を振り返って「今何をすべきか」を考える方法で、いわば未来からの発想法です。その反対の言葉が「フォアカスティング」。現在を起点として未来を予測する方法です。

今までマルワでは経営計画を策定する際に、過去の検証を元にして計画を立案していくフォアカスティングが基本でした。しかし情報の電子化やSNSの発達といった印刷業界を取り巻く厳しい状況の中で、従来の延長線上での経営や事業展開は通用しなくなってきました。

いつの時代も将来市場を見通し新たなビジネスの選択肢を準備しておくことが、企業の成長にとって不可欠です。とはいえ、いくら重要性を認識していても、経験したことのない未来では今までの事業だけでの成長は困難です。つまり従来のスペックとの比較で生まれる指標から、一旦離れる必要があると考えました。「従来の延長」にはない別の軸に立った指標を打ち出すために登場したのがSDGsです。

マルワでは新たな期の経営計画を立案する際に、部署別、年代別と二度にわたって「2030年にありたいマルワの姿」を社員がディスカッションしました。そこで社員が描いたのが「新たな事業展開」「働きがいのある環境づくり」「環境負荷の低減に対する取り組み」の三本です。そしてそのベースとなったのがSDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」です。

SDGsが「誰一人取り残さない」という理念のもとにある「持続可能な開発目標」であるように、マルワもお互いを思いやり、お互いを信じ、一緒になって「持続可能な会社」を目指そうと思っています。そのことが「集う社員にとって豊かな暮らし」を「関係するお客さま、地域の皆さまに対して責任のある会社」になることだと信じています。

マルワが実践するSDGsの取り組みは小さなことかもしれませんが、この地道な活動を実践して2030年に向けてのみらい創造に邁進してまいります。



事業活動における環境に配慮した取組を自主的かつ積極的に実施している事業所として認定されています。



P-00032

コンプライアンス、環境、品質、雇用・労働安全、情報セキュリティ、財務、社会貢献、情報開示・コミュニケーション等バランスがとれた事業活動を目指し企業の社会的責任に努めています。



この製品は、適切に管理されたFSC®認証林およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。



人間の経済活動や生活などを通して二酸化炭素などの温室効果ガスを、植林・森林保護・クリーンエネルギー事業（排出権購入）による削減活動によって吸収しようとする考え方や活動です。



この印刷物は植物油インキ（植物油含有基準量20%以上の枚葉印刷用インキ）を使用しております。



この印刷物はグリーン基準に適合した印刷資材を使用し環境配慮されたグリーンプリンティング認定工場で印刷しています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。



■本社所在地

〒468-0011 名古屋市天白区平針四丁目211番地
TEL (052)802-4141 FAX (052)802-9355

■東京営業所

東京都豊島区池袋二丁目14-2
TEL (03)5953-1732 FAX (03)5953-8907

URL <http://www.maruwanet.co.jp>

E-mail info@maruwanet.co.jp